



平成19年5月28日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信
(JASDAQ・コード6267)
問い合わせ先 専務取締役 池澤 晃
管理部長
電話番号 0568(23)3111(代表)

平成19年7月期(非連結)業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年7月期(平成18年8月1日~平成19年7月31日)の業績予想について、平成19年3月5日付当社「平成19年7月期中間決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成19年7月期業績予想の修正(平成18年8月1日~平成19年7月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年3月5日発表)	4,600	400	235
今回修正予想(B)	4,150	230	125
増減額(B-A)	△450	△170	△110
増減率(%)	△9.8	△42.5	△46.8
(ご参考) 前期実績(平成18年7月期)	4,394	285	154

2. 修正理由

包装機械業界におきましては、全体として設備投資需要は依然として低調のまま推移しております。このような環境のなかで、当社は新機種開発の強化、高機能・高価格機種の受注活動の強化、海外売上上の増加等に取り組んでおります。

通期の売上高につきましては、中間期で前年同期比462百万円の増加が図れたことに加え、下半期売上高に貢献可能な受注予定案件も見込まれたことから、前期比206百万円の増加を計画しておりました。

しかしながら、予想以上に需要が低調に推移するとともに、新機種を中心に高機能・高価格機種の受注も伸び悩んだことにより、当期に売上可能な案件の受注が第3四半期で計画を大幅に下回る結果となったこと等から、通期の売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりました。この

ため、通期の売上高予想を 4,150 百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、引き続きコストダウンと販売費及び一般管理費の抑制等に努めるものの、第 3 四半期で売上総利益率が計画値を大きく下回ったことに加え、通期売上高の減少に伴い、売上高総利益が減少することから、通期の経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。このため、通期の経常利益予想を 230 百万円、当期純利益予想を 125 百万円に修正いたします。

なお、平成 19 年 7 月期の期末配当につきましては、平成 19 年 3 月 5 日付当社「平成 19 年 7 月期中間決算短信（非連結）」にて発表しましたとおり、期末配当金を 1 株当たり 3 円 50 銭にて行う予定であります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上